



チワワで気をつけたい病気は？

■チワワの疾患統計

2004年4月1日から2008年3月31日までにアニコムクラブの共済契約に加入した0～10歳のチワワは88,553頭で、品種別の割合では2番目に多い。

犬全体と比べて、チワワの発症率が高い疾患は、18分類中5疾患あった。

犬全体に比べて、循環器疾患（心不全など）の発症率が1.8倍、

神経疾患（水頭症など）の発症率が1.7倍、

呼吸器疾患（気管虚脱など）の発症率が1.5倍、と特に高かった。（表）。

※ 2004年4月1日から2008年3月31日までにアニコムクラブの共済制度に加入したどうぶつのうち、契約期間が1年間で、契約満了または死亡解約となった犬681,039頭（男の子364,423頭、犬の女の子316,616頭）を対象に調査。

※契約満了または死亡解約となった各個体の1年毎の契約について、その契約が開始した年齢毎に1契約＝1頭とみなし、当該疾病について1回以上の請求があった犬の割合を発症率とした。

【表】チワワと犬全体の疾患別発症率（0～10歳）

	チワワ(a)	犬全体(b)	a/b
1 循環器疾患	7.5%	4.3%	1.8
2 神経疾患	3.3%	1.9%	1.7
3 呼吸器疾患	3.4%	2.2%	1.5
4 肝・胆道疾患	3.6%	3.0%	1.2
5 歯・口腔疾患	2.4%	2.1%	1.1
6 生殖器系疾患	1.9%	1.9%	1.0
7 筋骨格系疾患	5.8%	5.8%	1.0
8 眼の疾患	8.6%	9.3%	0.9
9 消化器疾患	11.1%	12.7%	0.9
10 内分泌疾患	1.2%	1.6%	0.7
11 損傷	2.8%	4.0%	0.7
12 感染症	0.7%	1.0%	0.7
13 寄生虫症	0.6%	1.1%	0.6
14 泌尿器疾患	3.4%	5.8%	0.6
15 耳の疾患	7.9%	14.6%	0.5
16 皮膚疾患	11.5%	22.1%	0.5
17 腫瘍疾患	2.8%	6.3%	0.4
18 血液・免疫疾患	0.1%	0.4%	0.3

チワワは、
循環器疾患、
神経疾患、
呼吸器疾患に
特に注意が必要！

